

学校だより

椎の木



令和4年1月13日
加賀市立庄小学校
校長 金津 美紀
加賀市珥ワ101の1

明けましておめでとうございます
本年もよろしく願っています



冬休みが終わり子どもたちの声が学校に戻ってきました。1月11日（火）に始業式を行い、3学期は「次学年の0学期」であり、上の学年になるための準備を進める期間であることを話しました。「4月からどんな0年生になりたいか。そのために、今やるべきことは何か」を考えさせながら次年度に向けて気持ちを高めていきたいと思ひます。

校内書き初め大会

3学期の初日、1月11日（火）に「校内書き初め大会」を行いました。冬休みに一生懸命、練習した様子が字から伝わってきました。どの学年も集中してよくがんばりました。

校内入選者の名前を紹介します。

学年	名前（◎加賀市書初め展出品代表者）
1年	◎○○ ○○ ・○○ ○○
2年	◎○○ ○○ ◎○○ ○○ ・○○ ○○
3年	◎○○ ○○ ◎○○ ○○ ・○○ ○○
4年	◎○○ ○○ ◎○○ ○○ ・○○ ○○
5年	◎○○ ○○ ◎○○ ○○ ・○○ ○○ ・○○ ○○ ・○○ ○○
6年	◎○○ ○○ ◎○○ ○○ ・○○ ○○ ・○○ ○○



校長検定を行いました

1月12日（水）の3限目に全校一斉で校長検定を行いました。1、2年生はカタカナ検定、3年生はローマ字検定、4～6年生は地方の名前と都道府県名（漢字）の検定です。どの検定も小学校のうち身に付けなければならないものばかりです。

合格できなかった人は2回目に再チャレンジ！1月17日（月）に行う予定です。合格めざして努力するようご家庭でも励ましてください。

寄付していただきました

HMC（ママさんソフトボールチーム）より、体育の器械運動で使用するマットを3枚いただきました。赤・青・緑のカラーマットです。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



新しい校務員さんです

○○○○さんが、都合で辞められ11月下旬より、○○○○さんに来ていただいています。七日市町に住んでいらっしゃるようです。毎日、学校中をピカピカにしてくださいありがとうございます。

「親子のルール PDCA」いかがでしたか？

夏休みに引き続き、冬休みの「親子のルールづくり」へのご協力、ありがとうございました。ネット依存症に陥らないよう、今後も親子のルールを確認しながら守らせてください。よろしくお願いたします。冬休み中の振り返りを一部、掲載します。

- ・ルールを作るとそのルールが身につくことが分かった。
- ・年末年始はルールがゆるくなってしまいました。
- ・もっと時間をうまく使いたいです。

ルールは時々、親子で話し合いながら変更することも大切です。

学校評価アンケートのご協力ありがとうございました

2回目の学校評価アンケートを行いました。保護者アンケートでは、ほとんどの項目で90%以上の肯定的な回答でした。特に「子どもたちは、落ち着いて授業に取り組んでいると思いますか」の回答が99%と高い評価を得ることができました。児童アンケートでも7月と比較すると肯定的な回答が増えました。しかし、保護者、児童ともに「お手伝い」に関する項目が低くなっているのが気になりました。そこで、こどもまなび☆ラボの資料を掲載いたします。ぜひ、参考にしてください。※アンケート結果の詳細は別紙で配布

お手伝いを継続するには・・・

習慣づけることが大切



そのためには、子どもがお手伝いをしてくれたときは、「ありがとう」「〇〇ちゃんのおかげで、助かったよ」と感謝の言葉を伝えましょう。

また同時に「上手にできたね」「すごくきれいになったよ」「一生懸命そうじしてくれたね」など、できた結果はもちろん、その過程も褒めましょう。言葉がけは、お手伝いが終わったらすぐにするのがポイントです。

このような言葉をかけられると、子どもは達成感や満足感を味わいそれが自信へとつながります。そして、もっとお手伝いがしたい、次もやりたいという継続する意欲にもつながるでしょう。

感謝の言葉はできれば毎日伝えてください。昨日褒められたことは、次の日には子どもは忘れてしまうもの。毎回褒められることで子どもは自信を持ち、できることが増えていく喜びを感じます。

そして、このように普段から子どもを尊敬し、肯定的な声かけをすることで、お手伝いをし忘れてしまったときでも、親からの「お手伝いしてくれるかな？」と言った声かけで子どもは動いてくれるはず。お手伝いの習慣や継続には、親子の信頼関係も大切になってくるはず。

また、お手伝いがうまくいかなくて、途中で投げ出してしまうこともあるものです。もし、うまくいかななくても、すぐに手を出さずに見守ることも大切。少し様子を見て、タイミングを見ながらヒントを与えたり、お手本を見せたりしてみましょう。時には、あえて見て見ぬふりをする必要も。

お互いがストレスにならないように気付かないふりをして、次回につなげるようにしましょう。